

(10) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川改修事業(富士川水系 ^{フジ} 笛吹川 ^{フエキ})		
事業主体	国土交通省		
施行地	山梨県 ^{フエキ カスガイ クワド} 笛吹市春日居町桑戸地先		
事業費	150.0 (百万円)	国費	150.0 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、笛吹川の水位が上昇し、河岸侵食が生じた。 今後の豪雨によって護岸の損傷が進行し、堤防が決壊するリスクを防ぐ必要があるため、推進費を活用して緊急的に笛吹川の護岸整備を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で河岸侵食が生じた笛吹川で護岸整備を実施し、再度災害を防止



(11) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川改修事業(富士川水系釜無川)		
事業主体	国土交通省		
施行地	山梨県中央市臼井阿原地先・南アルプス市浅原地先		
事業費	400.0 (百万円)	国費	400.0 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、釜無川の水位が上昇し、河岸侵食が生じた。今後の豪雨によって護岸の損傷が進行し、堤防が決壊するリスクを防ぐ必要があるため、推進費を活用して緊急的に釜無川の護岸整備を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。		

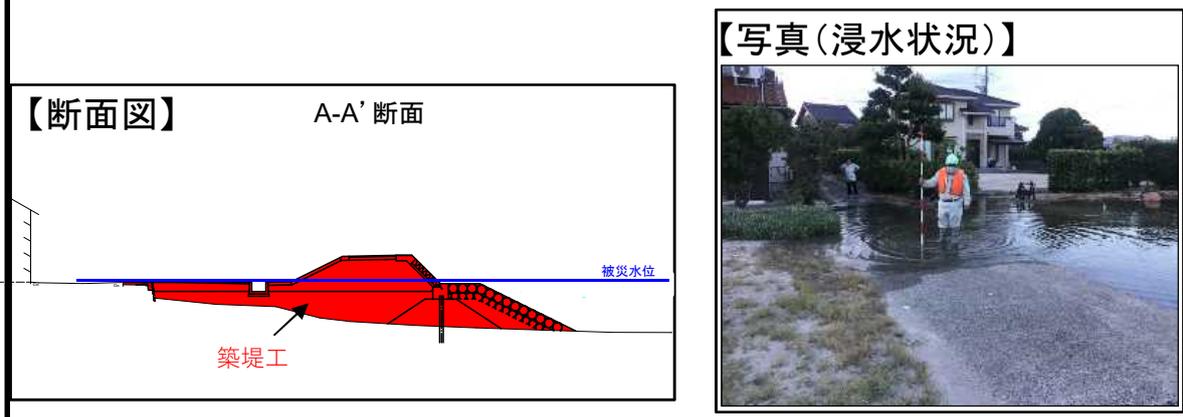
令和2年7月豪雨で河岸侵食が生じた釜無川で護岸整備を実施し、再度災害を防止



(12) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川改修事業(斐伊川水系中海)		
事業主体	国土交通省		
施行地	島根県松江市大海崎町地先ほか		
事業費	355.0 (百万円)	国費	355.0 (百万円)
内容	<p>令和2年9月4日の高潮により、中海から溢水し、家屋浸水などの被害が発生した。</p> <p>今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に中海の築堤工等を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。</p>		

令和2年9月の高潮で溢水が発生した中海で築堤などを実施し、再度災害を防止



(13) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

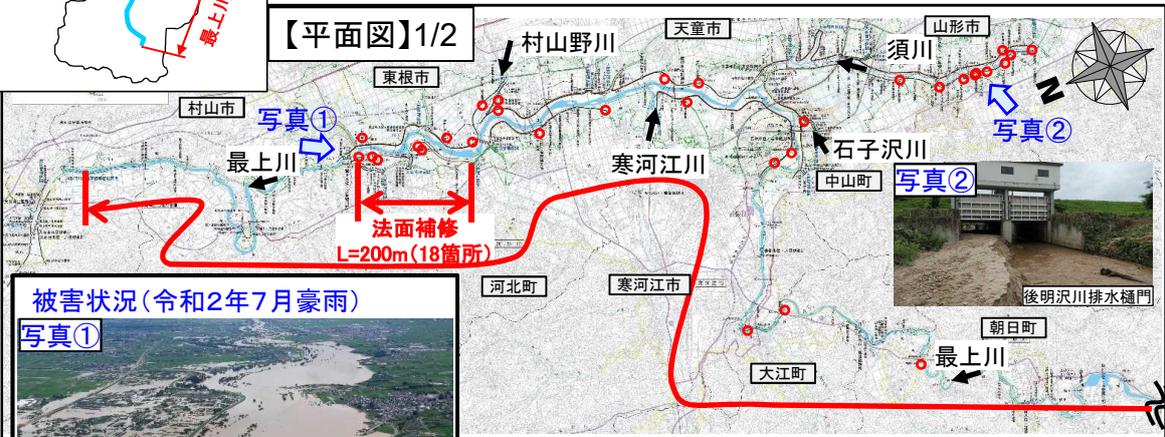
事業名	河川維持修繕事業(最上川水系最上川上流) ^{モガミ}		
事業主体	国土交通省		
施行地	ムラヤマ トチウダ ヨネザワ ナカダ 山形県村山市土生田地先～米沢市中田町地先		
事業費	343.7 (百万円)	国費	343.7 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、最上川が越水し、家屋浸水などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に最上川上流の土砂撤去等を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で越水が発生した最上川上流で土砂撤去などを実施し、再度災害を防止

【位置図】



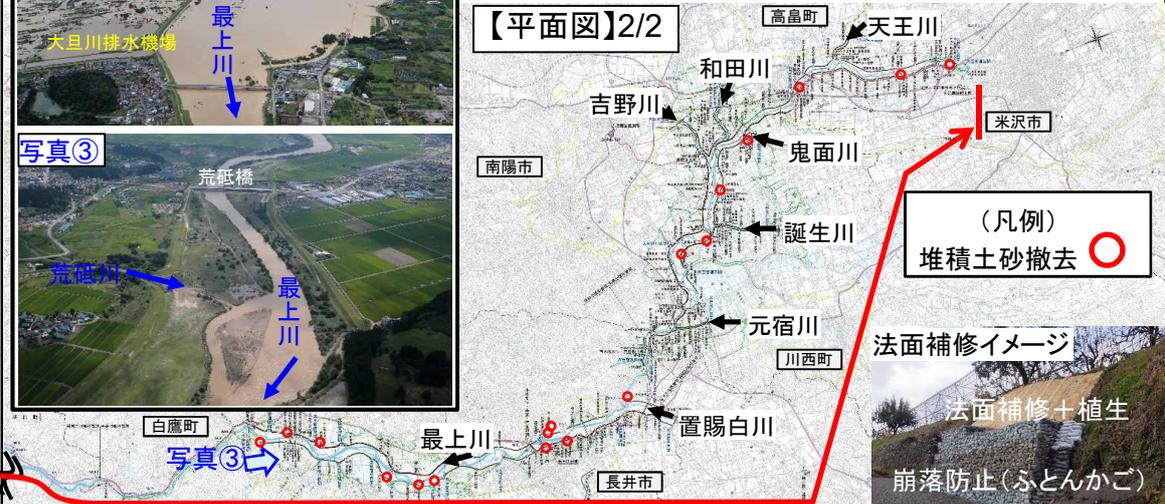
【平面図】1/2



被害状況(令和2年7月豪雨)



【平面図】2/2



堆積土砂撤去V=5,400m³、測量設計費N=一式

(14) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

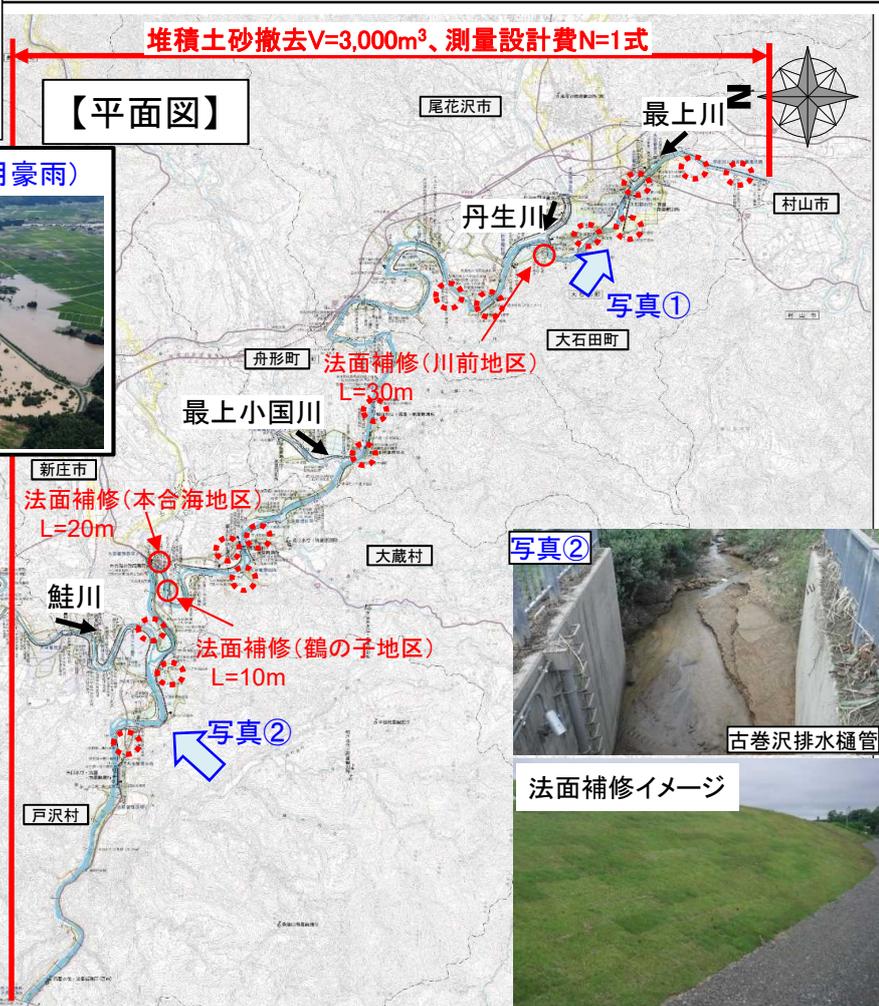
事業名	河川維持修繕事業(最上川水系最上川中流) ^{モガミ}		
事業主体	国土交通省		
施行地	山形県最上郡戸沢村大字古口地先～村山市田沢地先 ^{モガミ トザワ フルクチ ムラヤマ タザワ}		
事業費	199.0 (百万円)	国費	199.0 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、最上川が越水し、家屋浸水などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に最上川中流の土砂撤去等を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で越水が発生した最上川中流で土砂撤去などを実施し、再度災害を防止

【位置図】



【平面図】



被害状況(令和2年7月豪雨)

写真①



写真②



(凡例)

堆積土砂撤去



法面補修



(15) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川維持修繕事業(最上川水系最上川下流) ^{モガミ}		
事業主体	国土交通省		
施行地	山形県酒田市宮野浦地先～最上郡戸沢村大字古口地先 ^{サカタ ミヤノウラ モガミ トザワ フルクチ}		
事業費	125.0 (百万円)	国費	125.0 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、最上川の水位が上昇し、浸水などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に最上川下流の土砂撤去等を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で浸水被害が発生した最上川下流で土砂撤去などを実施し、再度災害を防止



(16) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	河川維持修繕事業(赤川水系赤川) ^{アカ}		
事業主体	国土交通省		
施行地	山形県酒田市浜中地先～鶴岡市熊出地先 <small>サカタ ハマナカ ツルオカ クマイデ</small>		
事業費	93.0 (百万円)	国費	93.0 (百万円)
内容	<p>令和2年7月豪雨により、赤川の水位が上昇し、浸水などの被害が発生した。</p> <p>今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に赤川の土砂撤去等を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。</p>		

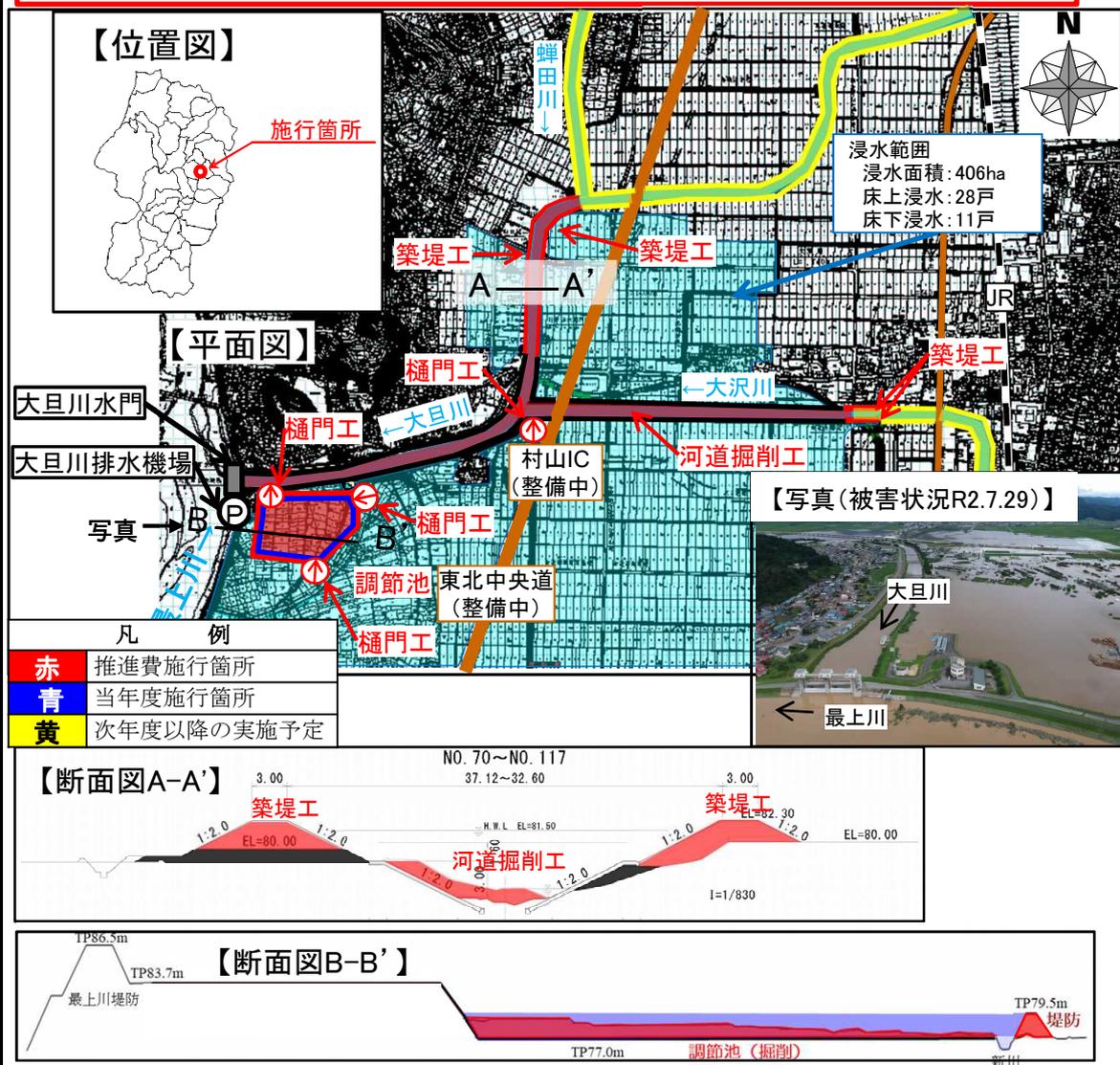
令和2年7月豪雨で浸水被害が発生した赤川で土砂撤去などを実施し、再度災害を防止



(17)・(18) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	モガミ オオダン (17)防災・安全社会資本整備交付金事業(最上川水系大旦川) モガミ オオダン (18)大規模特定河川事業(最上川水系大旦川)		
交付金計画名	総合的な浸水対策及び海岸侵食対策(防災・安全)		
事業主体	山形県		
施行地	ムラヤマ カワシマ 山形県村山市河島地先		
事業費	(17)400.0 (18)200.0 (百万円)	国費	(17)200.0 (18)100.0 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、大旦川の水位が上昇し、家屋浸水などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に大旦川の河道掘削や調節池整備などを実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で家屋浸水が生じた大旦川で河道掘削や調節池整備などを実施し、再度災害を防止



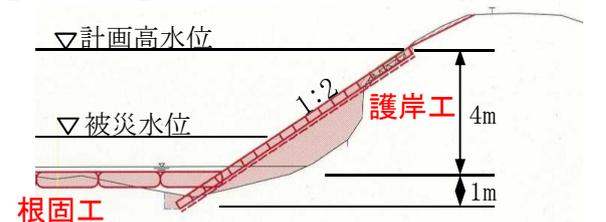
(19) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(余川川水系余川川) ^{ヨカワ}		
交付金計画名	総合的な治水対策の推進(防災・安全)		
事業主体	富山県		
施行地	富山県氷見市余川地先 ^{ヒミ ヨカワ}		
事業費	35.0 (百万円)	国費	17.5 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、余川川の水位が上昇し、護岸損壊等が生じた。今後の豪雨によって護岸の損傷が進行し、堤防が決壊するリスクを防ぐ必要があるため、推進費を活用して緊急的に余川川の護岸整備を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で護岸損壊が生じた余川川で護岸整備を実施し、再度災害を防止



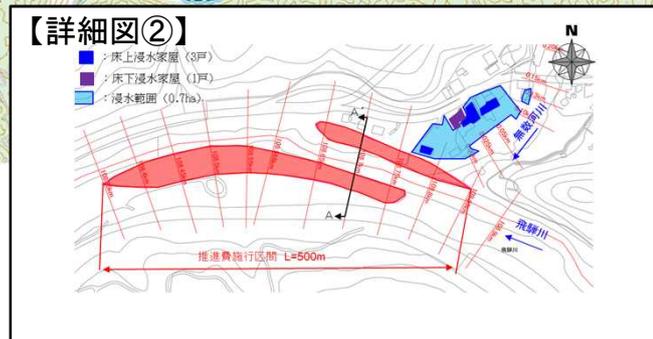
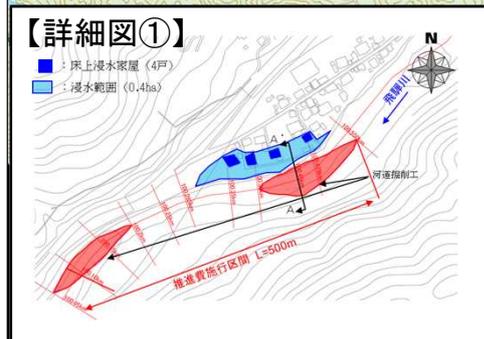
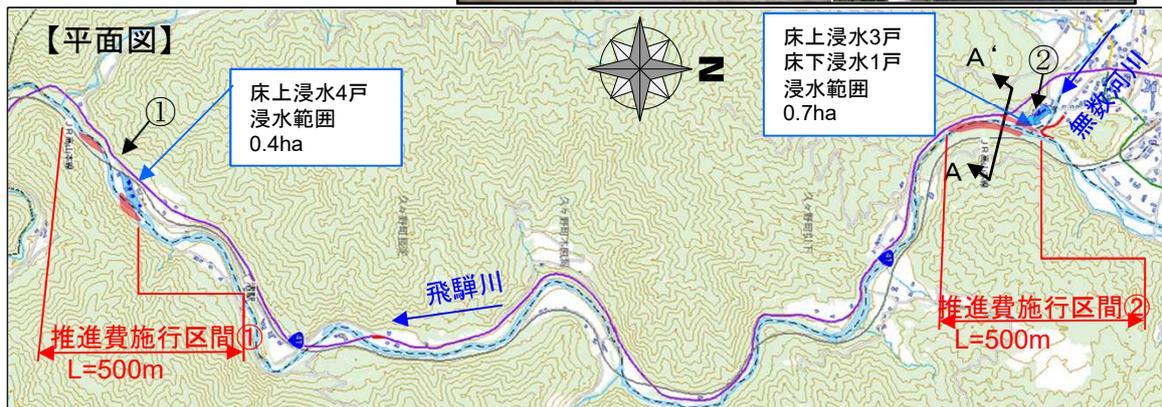
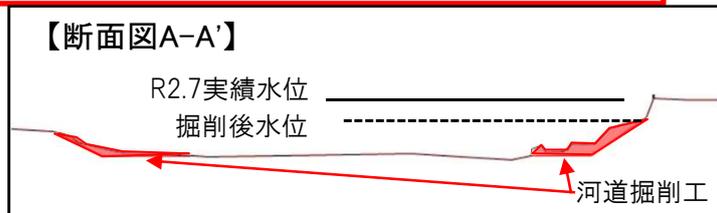
【断面図】(A-A')



(20) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(木曾川水系飛驒川) ^{キソ ヒダ}		
交付金計画名	「新五流域総合治水対策プラン」に基づいた総合的な治水対策の推進(防災・安全)		
事業主体	岐阜県		
施行地	岐阜県高山市久々野町渚地先～無数河地先 ^{タカヤマ クゲノ ナギサ ムスゴ}		
事業費	198.0 (百万円)	国費	99.0 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、飛驒川が越水し、家屋浸水などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に飛驒川の河道掘削を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で越水が発生した飛驒川で河道掘削を実施し、再度災害を防止



(21) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(佐敷川水系佐敷川) ^{サシキ}		
交付金計画名	熊本県下における総合的なハード・ソフト一体となった治水対策の推進(防災・安全)		
事業主体	熊本県		
施行地	熊本県葦北郡芦北町白岩地先 ^{アシキタ アシキタ シライウ}		
事業費	340.0 (百万円)	国費	170.0 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、佐敷川が溢水し、家屋浸水などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に佐敷川の河道掘削等を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で溢水が発生した佐敷川で河道掘削などを実施し、再度災害を防止

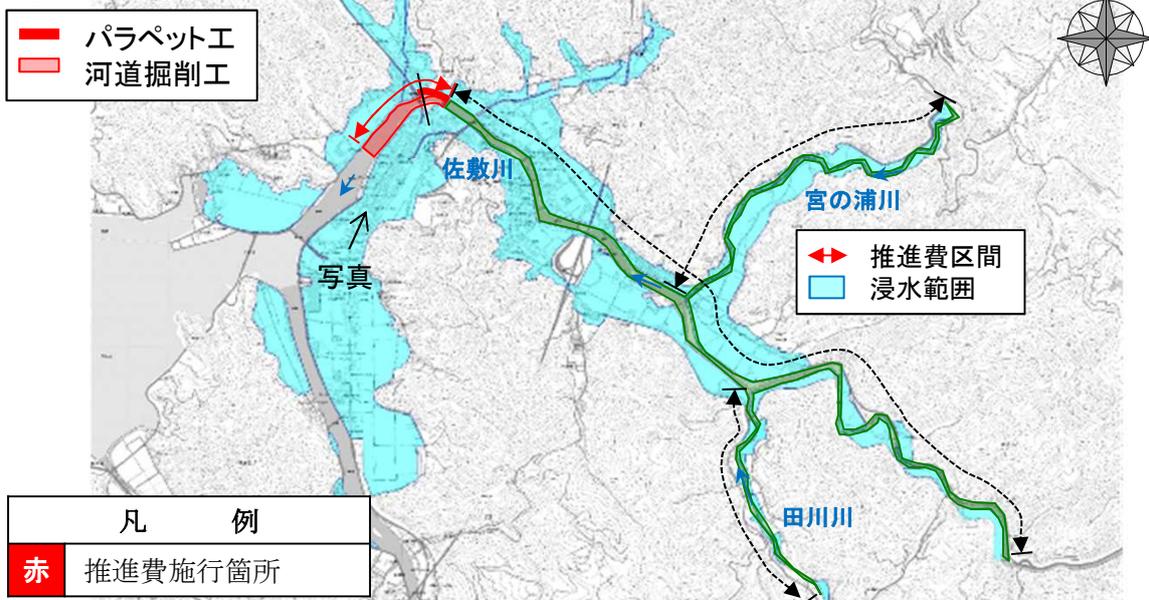
【位置図】



【写真(被災状況)】



【平面図】



【断面図】



(22) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

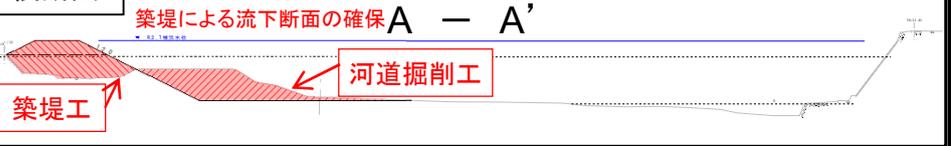
事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(大分川水系大分川) ^{オオイト}		
交付金計画名	安全で安心して暮らせる豊の国の川づくり(防災・安全)		
事業主体	大分県		
施行地	大分県由布市庄内町東長宝地先、挾間町挾間地先 ^{ユフ ショウナイ ヒガシチヨウチ} ^{ハサマ ハサマ}		
事業費	200.0 (百万円)	国費	100.0 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、大分川が溢水し、家屋浸水などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に大分川の河道掘削等を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で溢水が発生した大分川で河道掘削などを実施し、再度災害を防止

位置図

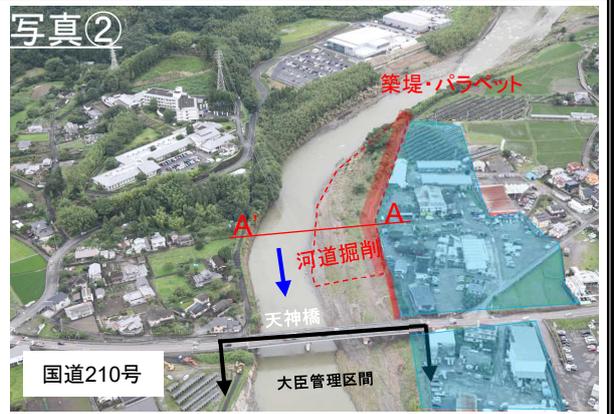
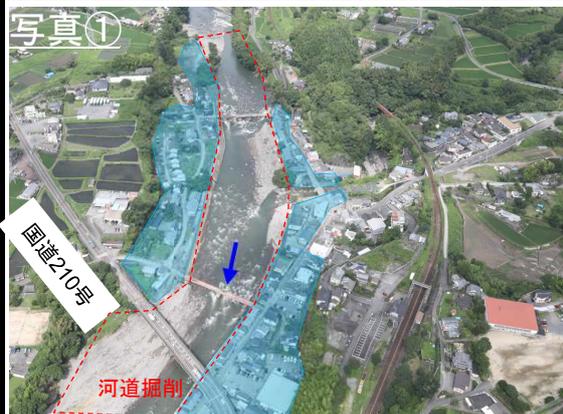
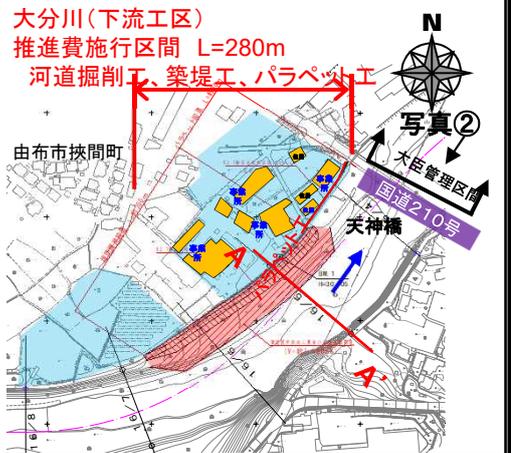


横断面図



平面図

- 凡例
- 浸水区域 (Blue shading)
 - 浸水家屋 (Yellow shading)

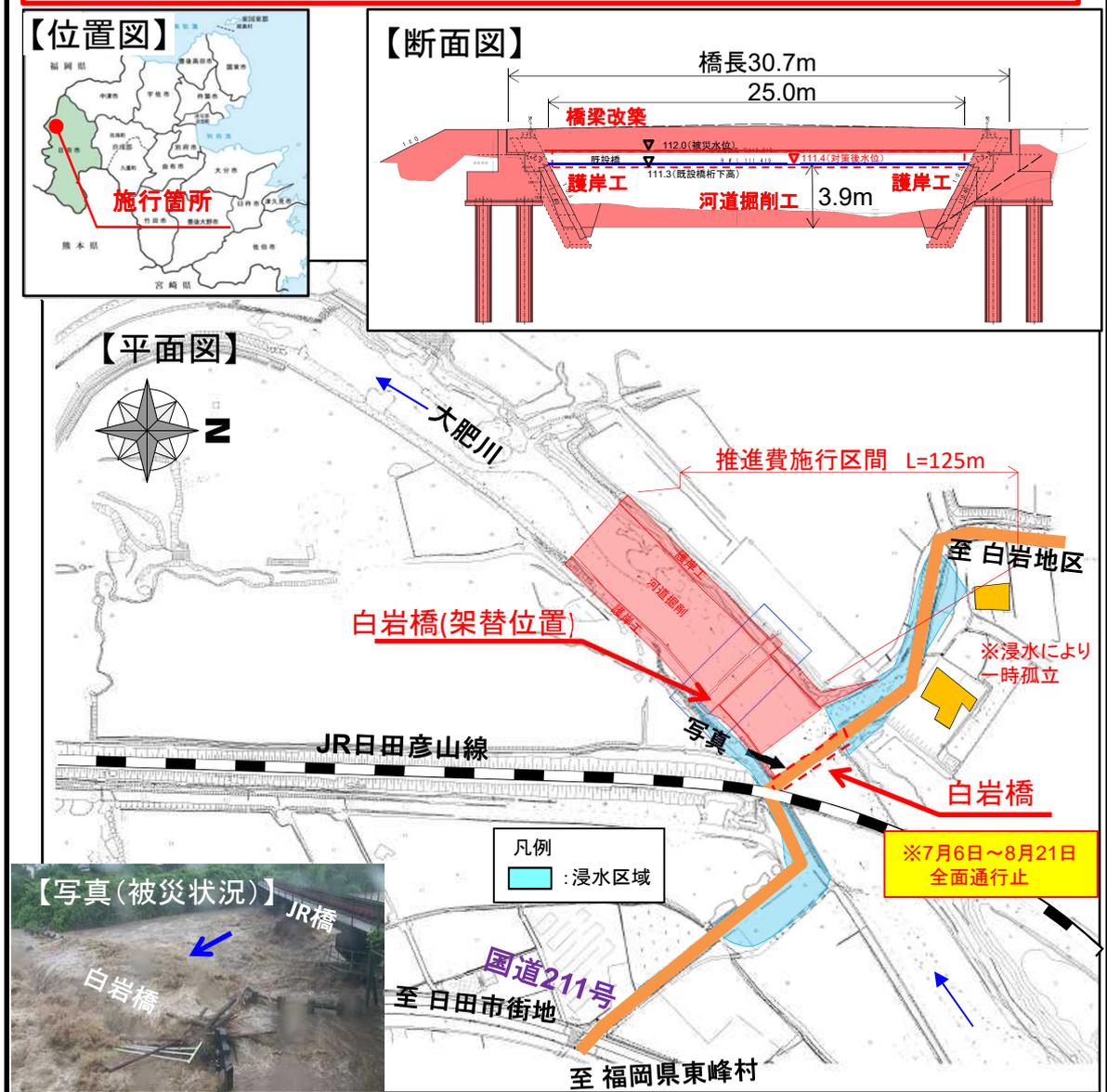


※大臣管理区間については別途事業(直轄)にて浸水対策を実施

(23) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(筑後川水系大肥川) ^{チクゴ オオヒ}		
交付金計画名	安全で安心して暮らせる豊の国の川づくり(防災・安全)		
事業主体	大分県		
施行地	大分県日田市大字大肥地先 ^{ヒタ オオヒ}		
事業費	200.0 (百万円)	国費	100.0 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、大肥川が溢水し、市道橋破損などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に大肥川の河道掘削等を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

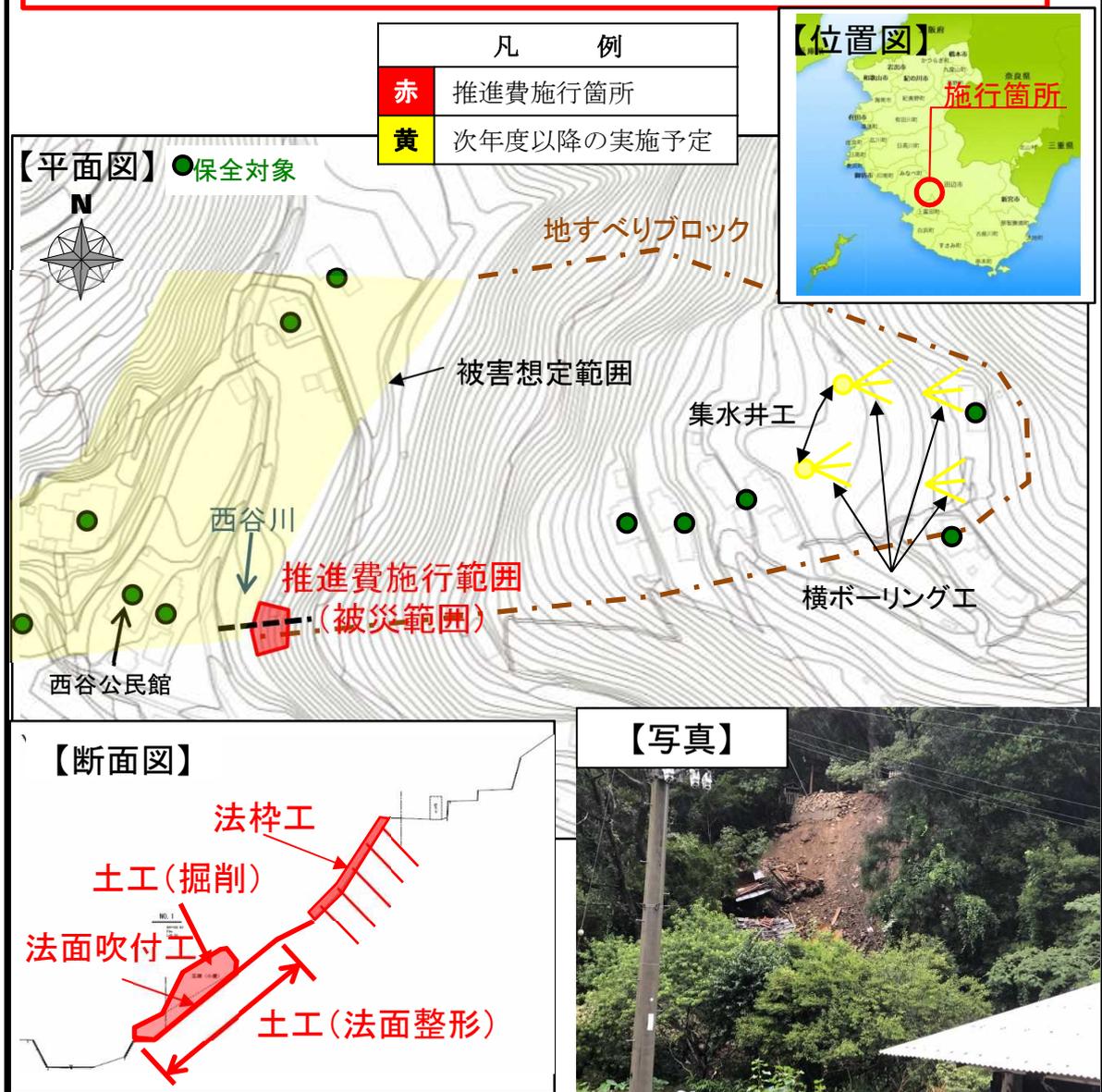
令和2年7月豪雨で溢水が発生した大肥川で河道掘削などを実施し、再度災害を防止



(24) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(日向地区) <small>ヒムカイ</small>		
交付金計画名	災害予防・減災のための着実な基盤づくりの推進による安全・安心社会の実現(防災・安全)		
事業主体	和歌山県		
施行地	和歌山県田辺市中辺路町西谷地内 <small>タナベ ナカヘチ ニシダニ</small>		
事業費	27.0 (百万円)	国費	13.5 (百万円)
内容	令和2年7月6日に日向地区で地すべりが発生し、神社社務所が損壊する被害が発生した。 このため、推進費を活用して緊急的に法面対策工事(法枠工等)を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。		

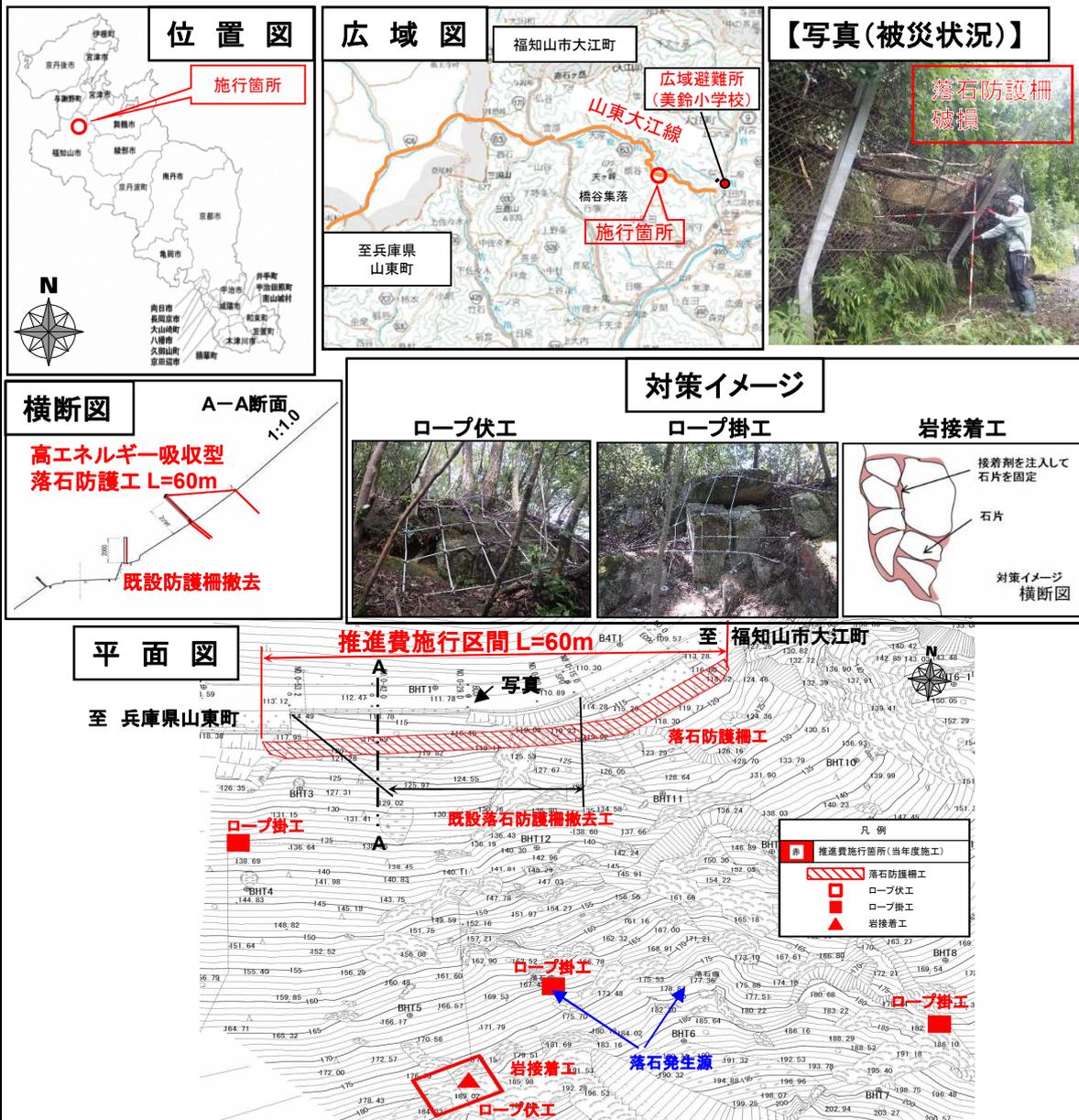
令和2年7月の地すべりによる被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、法枠工などの整備を行う



(25) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路更新防災等対策事業(主要地方道山東大江線) サントウオオエ		
事業主体	京都府		
施行地	フクチヤマ オオエ ハシダニ 京都府福知山市大江町橋谷		
事業費	57.0 (百万円)	国費	28.5 (百万円)
内容	令和2年7月14日に主要地方道山東大江線で崖崩れが発生し、14日間の全面通行止めを行った。 このため、推進費を活用して緊急的に落石対策工事(落石防護柵等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

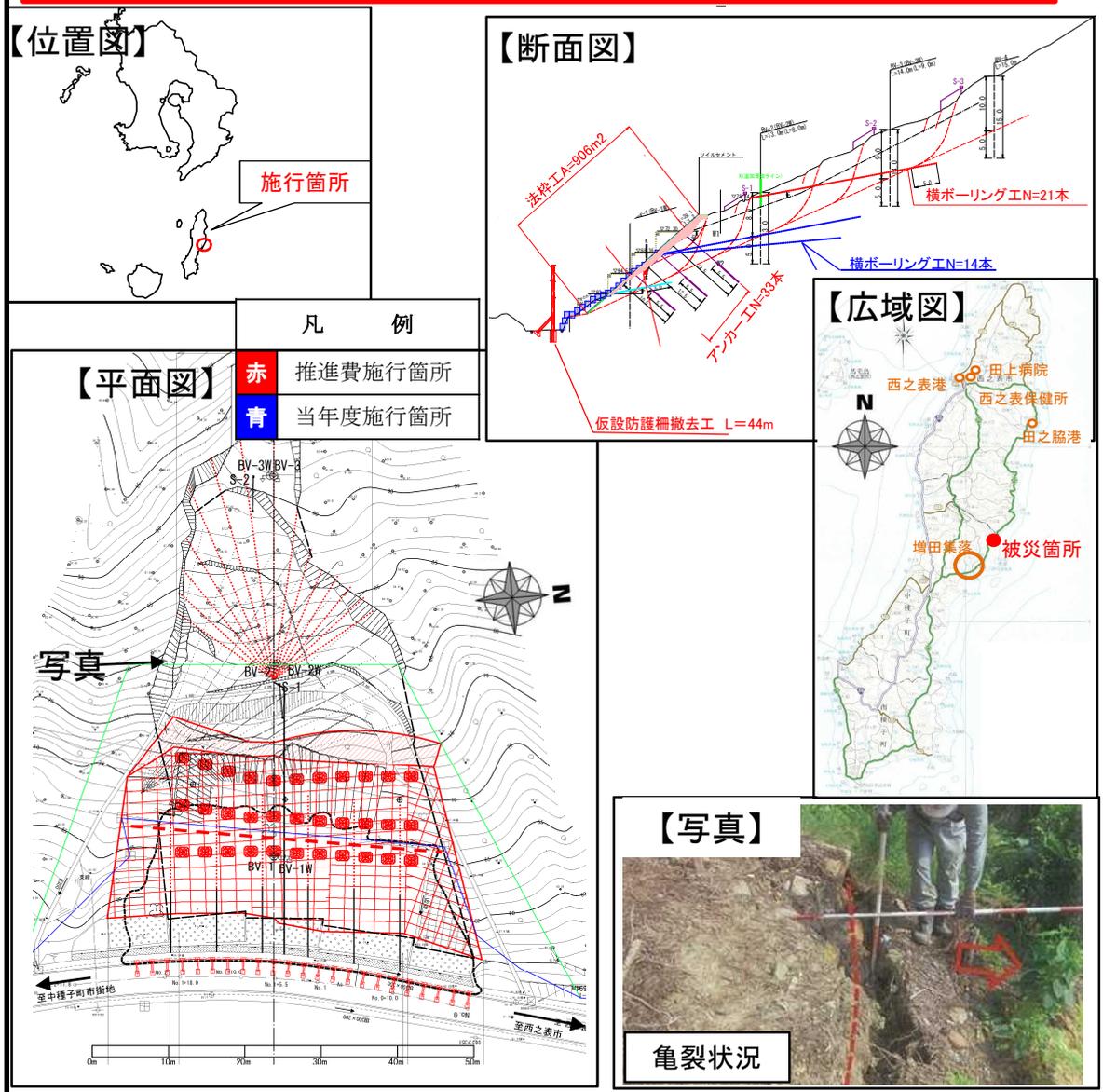
令和2年7月の崖崩れによる被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、落石防護柵などの整備を行う



(26) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(主要地方道西之表南種子線) <small>ニシノオモテミナミタネ</small>		
交付金計画名	安心・安全な暮らしを実現する道路インフラ整備(防災・安全)		
事業主体	鹿児島県		
施行地	クマゲ ナカタネ マスダ 鹿児島県熊毛郡中種子町増田地内		
事業費	97.369 (百万円)	国費	66.600 (百万円)
内容	令和2年6月8日に主要地方道西之表南種子線で地すべりが発生し、全面通行止めを行っている。 このため、推進費を活用して緊急的に地すべり対策工事(アンカー工等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者の安全・安心を確保する。		

令和2年6月の地すべりによる被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、アンカー工などの整備を行う



(27) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

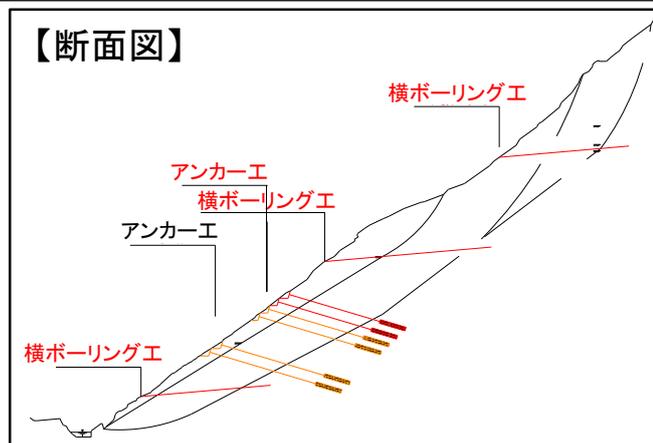
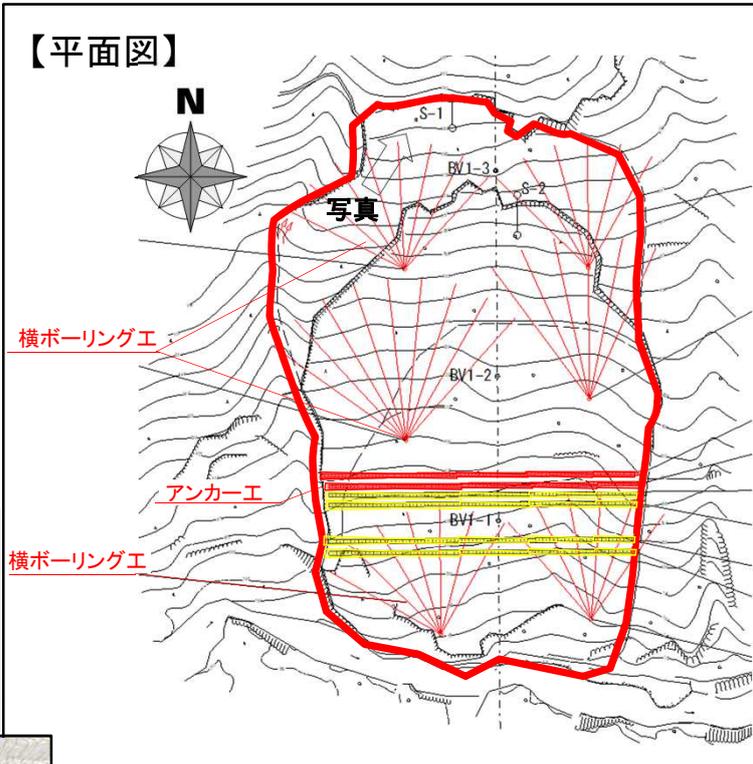
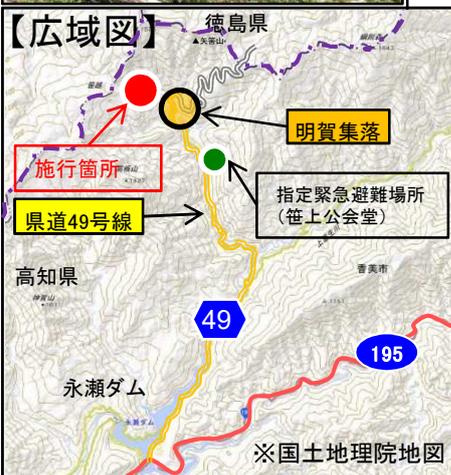
事業名	国有林野内治山事業(麦生土) ^{ムジュウト}		
事業主体	林野庁		
施行地	高知県香美市物部町麦生土国有林23林班 ^{カミ モノベ ムジュウト}		
事業費	271.0 (百万円)	国費	271.0 (百万円)
内容	令和2年7月7日に麦生土地区で地すべりが発生した。 今後の地すべりの進行によって下流の集落が被災するリスクを防ぐ必要があるため、推進費を活用して緊急的に地すべり対策工事(アンカー工等)を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月に発生した地すべり箇所に対して、再度災害防止対策として、アンカー工などの整備を行う



凡例

赤	推進費施行箇所
黄	次年度以降の実施予定



(28) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	船舶交通安全基盤整備事業(黄島) ^{オウシマ}		
事業主体	海上保安庁		
施行地	長崎県五島市大島字大窪 ^{ゴトウ オオシマ オオクボ}		
事業費	30.0 (百万円)	国費	30.0 (百万円)
内容	令和2年度台風第9号に伴う暴風により停電が発生し、黄島灯台で想定外の消灯が発生した。 このため、推進費を活用して緊急的に電源の太陽電池化を行うことで再度災害防止を図り、船舶交通の安全を確保する。		

令和2年度台風第9号によって消灯した灯台に対して、再度災害防止対策として、電源の太陽電池化の整備を行う

【位置図】



【写真(現地)】



【対策】

- ・電源を商用電源から自家発電(太陽電池)へ変更
- ・光源を消費電力の小さいLEDへ変更
⇒停電に左右されず、災害に強い標識へ

太陽電池化(イメージ)



光源の高度化(イメージ)



整備後(消費電力の小さいLED)
※消費電力は1/2に

(29) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

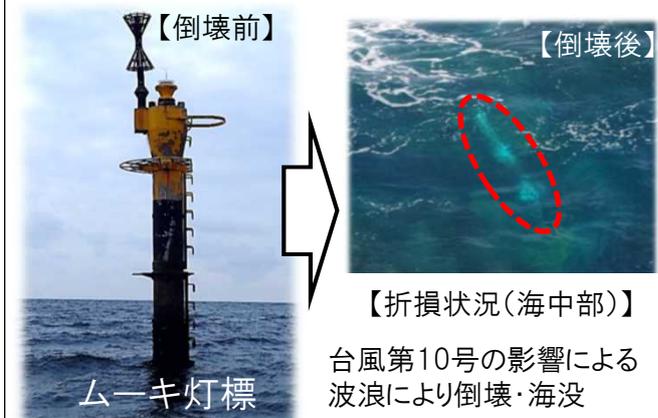
事業名	船舶交通安全基盤整備事業(糸満漁港沖ほか) ^{イトマン}		
事業主体	海上保安庁		
施行地	沖縄県糸満市糸満漁港沖ほか ^{イトマン イトマン}		
事業費	207.35 (百万円)	国費	207.35 (百万円)
内容	<p>令和2年度台風第10号に伴う波浪により、糸満漁港沖のムーキ灯標が倒壊した。また、その後の点検により同様に倒壊する恐れのある灯標が5基確認された。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に倒壊対策を図った灯標を設置することで再度災害防止を図り、船舶交通の安全を確保する。</p>		

令和2年度台風第10号によって灯標が倒壊した箇所等に対して、再度災害防止対策として、倒壊対策を図った灯標を設置する

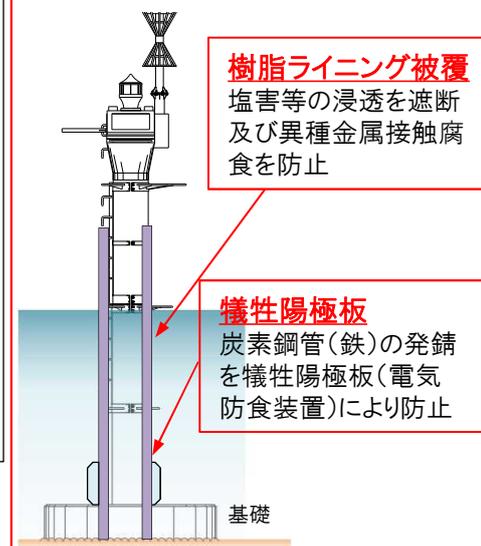
【位置図】



【写真(被害状況)】



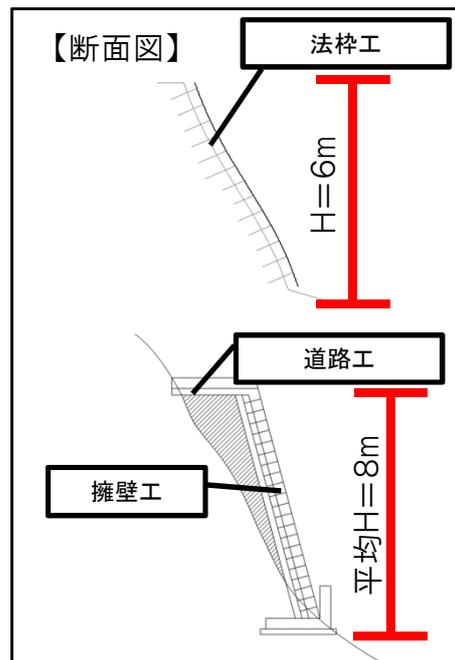
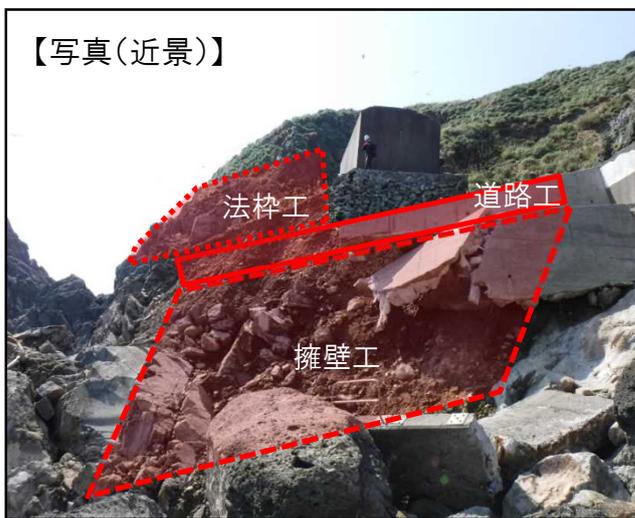
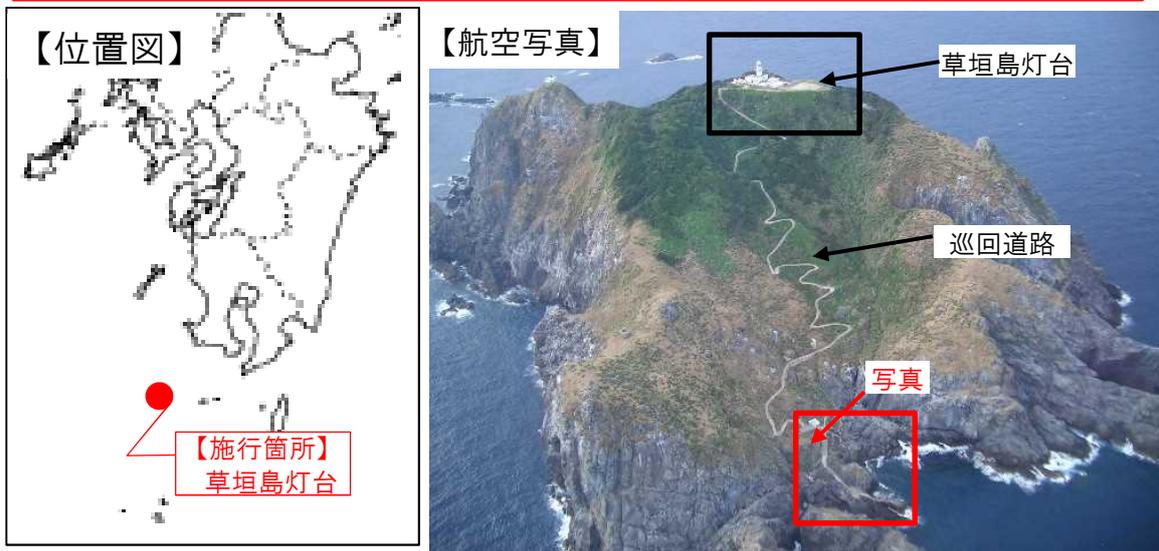
【対策(標体製造、標体設置工)】



(30) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	船舶交通安全基盤整備事業(草垣島) ^{クサガキシマ}		
事業主体	海上保安庁		
施行地	鹿児島県南さつま市笠沙町片浦字草搔上島 ^{ミナミ カササ カタウラ クサガキカミシマ}		
事業費	250.0 (百万円)	国費	250.0 (百万円)
内容	令和2年度台風第10号に伴う豪雨により、草垣島灯台への巡回道路の法面が崩落した。 このため、推進費を活用して緊急的に崩落対策工事(法枠工等)を行うことで再度災害防止を図り、灯台の適切な運用を維持し、船舶交通の安全を確保する。		

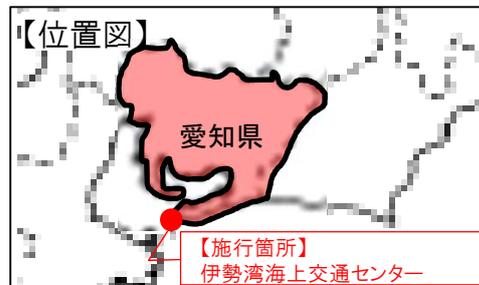
令和2年度台風第10号により被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、法枠工などの整備を行う



(31) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	船舶交通安全基盤整備事業(伊良湖岬) ^{イラゴミサキ}		
事業主体	海上保安庁		
施行地	愛知県 ^{タハラ} 田原市大字伊良湖 ^{イラゴ} 字古山 ^{コヤマ}		
事業費	60.0 (百万円)	国費	60.0 (百万円)
内容	<p>令和2年8月16日の強風により、伊勢湾海上交通センターの外壁が落下した。また、今後の強風により外壁と一体となっている情報提供板・信号板が損傷する恐れがある。</p> <p>このため、推進費を活用して緊急的に外壁交換工事を行うことで再度災害防止を図り、情報提供板・信号板の損傷を防ぎ船舶交通の安全を確保する。</p>		

令和2年8月の強風による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、外壁交換工事を行う



【外壁交換工事】



【被災写真①】



【被災写真②】



(32) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	船舶交通安全基盤整備事業(室戸岬) ^{ムロトミサキ}		
事業主体	海上保安庁		
施行地	高知県室戸市室戸岬町大字坊屋敷 ^{ムロト ムロトミサキ ボウヤシキ}		
事業費	166.163 (百万円)	国費	166.163 (百万円)
内容	令和2年9月25日の豪雨により、室戸岬灯台への巡回道路の法面が崩落した。 このため、推進費を活用して緊急的に崩落対策工事(法枠工)を行うことで再度災害防止を図り、灯台の適切な運用を維持し、船舶交通の安全を確保する。		

令和2年9月の豪雨により被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、法枠工の整備を行う

